



平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 三共生興株式会社
コード番号 8018

上場取引所 東証一部・大証一部

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 秀夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長澤 和之
社長室セネラルマネージャー 下川 浩一

URL <http://www.sankyoseiko.co.jp>

TEL (06) 6268-5188

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年3月期第3四半期	28,059 △15.5	2,050 50.9	2,211 74.1	1,528 —
21年3月期第3四半期	33,199 —	1,358 —	1,270 —	45 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	33 70	— —
21年3月期第3四半期	0 94	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	50,810	20,853	40.3	452 93
21年3月期	51,384	19,693	37.6	402 21

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 20,501百万円 21年3月期 19,343百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	— —	— —	— —	12 50	12 50
22年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
22年3月期 (予想)	— —	— —	— —	12 50	12 50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	38,000 △11.3	1,450 110.4	1,500 120.5	800 —	17 67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
[除外1社（㈱サン プロシード）]
[(注) 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
[(注) 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更： 無
② ①以外の変更： 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | |
|----------------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 22年3月期第3四半期 | 60,000,000株 |
| | 21年3月期 | 60,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 14,736,493株 |
| | 21年3月期 | 11,907,048株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22年3月期第3四半期 | 45,357,890株 |
| | 21年3月期第3四半期 | 48,093,466株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、今回の業績予想修正の詳細につきましては、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで）における我が国経済は、輸出や生産に徐々に改善の動きがみられるなど持ち直しの傾向にあるものの、依然として企業収益は低迷し、雇用・所得環境が一段と厳しさを増す中、個人消費も伸び悩むなど、総じて厳しい環境となりました。

当社グループを取り巻く環境は、デフレの進行や消費者の節約志向の高まりなどから、衣料品の買い控えや低価格志向がますます顕著となり、業界全体として一層厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢の中、当社グループは、経営の効率化を図るため、引き続き徹底した在庫管理、諸経費のさらなる削減に取り組み収益体制の基盤強化を推進いたしました。一方、営業面では、基幹ブランド「ダックス」をはじめとしたブランド商品の販売において、お客様に高品質な商品を適正価格でお届けすることをモットーに、今までの営業努力を粘り強く続けてまいりました。

以上の結果、当第 3 四半期における連結業績は、売上高は前年同期比 15.5%減の 28,059 百万円となりましたが、営業利益は前年同期比 50.9%増の 2,050 百万円、経常利益は前年同期比 74.1%増の 2,211 百万円、四半期純利益は前年同期に比して 1,483 百万円増の 1,528 百万円となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

ファッション関連事業

当事業では、基幹ブランド「ダックス」創業 115 周年を記念して 7 月に開催された、その歴史を披露するアーカイブ展や最新コレクションのファッションショーに引き続き、秋以降は主力販売先である全国の百貨店で 115 周年記念フェアを実施するなど、販売促進、営業力の強化に積極的に取り組んでまいりました。高級プリントファッションである「レオナール」「レオナルスポーツ」は、高額商品の買い控えの影響によりやや苦戦いたしました。また、「ダックス」婦人服は下期以降は持ち直しを見せ、全般的に低迷する百貨店の店頭販売において比較的健闘する結果となりました。

また、「ダックス」商品のアジアでの販売は、台湾、中国では順調に売上を伸ばし、主力販売地域である香港でも、期の前半は苦戦いたしました。下期以降は活況を呈するなど好調に推移いたしました。

また、英国ダックス社も、収益構造の改善が功を奏し、利益面では貢献する結果となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 16.4%減の 13,925 百万円となりましたが、営業利益は前年同期比 42.6%増の 1,677 百万円となりました。

繊維関連事業

当事業では、アパレル企業向け商品の OEM を中心事業といたしておりますが、デフレ基調が定着し消費者の値下がり期待感の高まりとともに、衣料品の低価格志向は一段と強まりを見せ、市場の縮小、企業間競争が激化するなど、厳しい事業展開を余儀なくされております。

このような状況において、あらゆる経費の削減、徹底した在庫管理、合理的な生産体制の確立に鋭意取り組んでまいりました。

その結果、当事業全体の売上高は前年同期比 21.6%減の 6,875 百万円となりましたが、営業利益は前年同期に比して 151 百万円改善の 6 百万円となりました。

生活関連事業

当事業では、タオルなどのリビング商品の販売は、ギフトを中心に全体的な市場の不振もあり、売上、利益ともに苦戦いたしました。「ロフテー枕工房」は、眠りに関する健康志向の影響やメディア効果により、比較的堅調に推移いたしました。パジャマ、寝装品、雑貨のOEM事業は、得意先の販売不振の影響も受け減収となりましたが、企業営業力の向上と為替円高効果などにより利益率が向上し、利益面では貢献いたしました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比 9.2%減の 6,270 百万円となりましたが、営業利益は前年同期比 21.8%増の 131 百万円となりました。

不動産賃貸事業

大阪の賃貸ビルをメインとして、東京、横浜、神戸等の不動産に係る賃貸事業は、概ね順調に推移いたしました。

その結果、当事業全体の売上高は前年同期比 1.1%増の 1,894 百万円、営業利益は前年同期比 0.2%増の 785 百万円となりました。

その他の事業

当事業の物流倉庫業、ビルメンテナンス業、内装工事業等は、売上高は前年同期比 1.2%減の 1,079 百万円、営業損失は 31 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第 3 四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて 878 百万円 (4.5%) 減少し、18,747 百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が 534 百万円減少、商品及び製品が 196 百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 305 百万円 (1.0%) 増加し、32,063 百万円となりました。これはポンド高の関係で商標権が円換算上で 702 百万円増加した一方で、建物及び構築物が減価償却により 484 百万円減少したことなどによるものであります。

その結果、総資産は前連結会計年度末に比べて 574 百万円 (1.1%) 減少し、50,810 百万円となりました。

(負債)

当第 3 四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて 1,612 百万円 (6.5%) 減少し、23,082 百万円となりました。これは短期借入金が 1,592 百万円減少、返品調整引当金が 231 百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 122 百万円 (1.7%) 減少し、6,874 百万円となりました。これは長期借入金が 269 百万円減少した一方で、繰延税金負債が 243 百万円増加したことなどによるものであります。

その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて 1,734 百万円 (5.5%) 減少し、29,957 百万円となりました。

(純資産)

当第 3 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 1,160 百万円 (5.9%) 増加し、20,853 百万円となりました。これは四半期純利益 (累計) の計上が 1,528 百万円、剰余金の配当が 601 百万円あったことにより利益剰余金が 928 百万円増加、また、純資産から控除している為替換算調整勘定が 808 百万円減少した一方で、自己株式の取得による減少が 812 百万円あったことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 21 年 11 月 6 日の第 2 四半期決算発表時に公表いたしました、平成 22 年 3 月期の連結業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日) 及び個別業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日) を下記のとおり修正しております。

(1) 平成 22 年 3 月期の通期連結業績予想数値の修正

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 38,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 800	円 銭 17 67
今回発表予想 (B)	38,000	1,450	1,500	800	17 67
増減額 (B - A)	—	250	300	—	—
増減率 (%)	—	20.8	25.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	42,825	689	680	△522	△10 86

(2) 平成 22 年 3 月期の通期個別業績予想数値の修正

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,000	百万円 900	百万円 1,050	百万円 700	円 銭 15 46
今回発表予想 (B)	10,000	1,150	1,350	700	15 46
増減額 (B - A)	—	250	300	—	—
増減率 (%)	—	27.8	28.6	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	22,846	1,419	1,644	920	19 14

(修正理由)

連結業績予想につきましては、連結子会社は全体として予想と比較し大きな変動はなく、下記のとおり個別業績予想の変動の修正による影響のみを織込んでおります。

個別業績予想につきましては、海外アジア市場、特に香港市場におきまして、金融危機やインフルエンザの影響もおさまり、香港支店の主要顧客である中国からの旅行者も増えたことなど、収益環境も好転し順調に推移いたしております。

通期の見通しといたしましては、為替の動向等の不安定な要素もありますが、香港支店の好転に加え、益率の改善や諸経費の削減等により、「営業利益」及び「経常利益」は増益を見込み、「当期純利益」につきましては、銀座の店舗閉鎖に伴う減損処理など 2 2 1 百万円を特別損失として計上いたしました関係もあり、前回予想どおりといたしております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

(主要な関係会社の異動)

連結除外：(株)サン プロシード

前期末において当社の連結子会社であった(株)サン プロシードは、平成 21 年 4 月 1 日付で当社の連結子会社である三共生興ファッションサービス(株)に吸収合併され、消滅いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第 3 四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第 2 四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎とした、継続記録による帳簿棚卸高により算定しております。

また、当第 3 四半期連結会計期間末における棚卸資産の評価に関しては、収益性の低下が明らかなものについては正味売却価額を見積り、棚卸資産より一括して控除する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前第 3 四半期 連結会計期間末 (平成 20 年 12 月 31 日)	当第 3 四半期 連結会計期間末 (平成 21 年 12 月 31 日)	前連結会計年度末 に係る要約 連結貸借対照表 (平成 21 年 3 月 31 日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
(資産の部)			
I 流動資産			
1 現金及び預金	6,326	6,578	6,457
2 受取手形及び売掛金	8,344	7,145	7,679
3 商品及び製品	5,284	4,413	4,609
4 仕掛品	15	4	28
5 原材料及び貯蔵品	348	251	301
6 その他	518	384	576
貸倒引当金	△30	△30	△26
流動資産合計	20,807	18,747	19,625
II 固定資産			
1 有形固定資産			
(1) 建物及び構築物	10,671	10,046	10,530
(2) 土地	3,988	3,945	3,945
(3) 建設仮勘定	—	101	—
(4) その他	978	819	841
有形固定資産合計	15,638	14,912	15,317
2 無形固定資産			
(1) 商標権	4,651	4,390	3,688
(2) のれん	82	16	65
(3) その他	103	91	112
無形固定資産合計	4,837	4,498	3,866
3 投資その他の資産			
(1) 投資有価証券	13,154	11,601	11,427
(2) その他	2,163	1,998	2,111
貸倒引当金	△739	△947	△964
投資その他の資産合計	14,578	12,653	12,574
固定資産合計	35,055	32,063	31,758
資産合計	55,862	50,810	51,384

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

科 目	前第 3 四半期 連結会計期間末 (平成 20 年 12 月 31 日)	当第 3 四半期 連結会計期間末 (平成 21 年 12 月 31 日)	前連結会計年度末 に係る要約 連結貸借対照表 (平成 21 年 3 月 31 日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
(負債の部)			
I 流動負債			
1 支払手形及び買掛金	7,041	5,936	5,850
2 短期借入金	16,189	14,439	16,031
3 1年内返済予定の長期借入金	359	359	359
4 未払法人税等	125	387	218
5 未払費用	1,103	868	1,043
6 返品調整引当金	182	138	369
7 店舗閉鎖損失引当金	—	123	—
8 事業整理損失引当金	54	—	—
9 その他	998	830	821
流動負債合計	26,053	23,082	24,694
II 固定負債			
1 長期借入金	1,457	1,098	1,367
2 長期未払金	818	776	798
3 繰延税金負債	3,845	3,541	3,298
4 退職給付引当金	592	567	574
5 負ののれん	140	28	112
6 長期預り金	986	839	845
7 その他	—	23	—
固定負債合計	7,840	6,874	6,996
負債合計	33,893	29,957	31,691
(純資産の部)			
I 株主資本			
1 資本金	3,000	3,000	3,000
2 資本剰余金	6,165	6,165	6,165
3 利益剰余金	16,553	16,914	15,986
4 自己株式	△4,422	△5,234	△4,422
株主資本合計	21,297	20,845	20,729
II 評価・換算差額等			
1 その他有価証券評価差額金	4,211	3,382	3,228
2 繰延ヘッジ損益	△156	△28	△108
3 為替換算調整勘定	△3,728	△3,698	△4,506
評価・換算差額等合計	327	△343	△1,386
III 少数株主持分	344	352	349
純資産合計	21,968	20,853	19,693
負債純資産合計	55,862	50,810	51,384

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(2) 四半期連結損益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

科 目	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)		当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)		前 年 同期間比
	金 額 (百万円)		金 額 (百万円)		金額(百万円)
I 売上高		33,199		28,059	△5,140
II 売上原価		19,684		16,229	
売上総利益		13,514		11,829	△1,685
III 販売費及び一般管理費					
1 従業員給料及び手当	2,153		1,684		
2 販売スタッフ費等	3,341		2,860		
3 退職給付費用	226		197		
4 福利厚生費	348		298		
5 地代家賃	1,025		896		
6 広告宣伝費	1,036		748		
7 減価償却費	401		355		
8 貸倒引当金繰入額	82		2		
9 その他	3,539	12,155	2,735	9,779	△2,376
営業利益		1,358		2,050	692
IV 営業外収益					
1 受取利息	71		16		
2 受取配当金	356		232		
3 負ののれん償却額	96		84		
4 その他	60	585	140	473	△112
V 営業外費用					
1 支払利息	319		154		
2 為替差損	168		48		
3 その他	185	673	108	311	△362
経常利益		1,270		2,211	941
VI 特別利益					
1 固定資産売却益	—		553		
2 賃借権譲渡益	156		—		
3 投資有価証券売却益	12		—		
4 貸倒引当金戻入額	6	175	17	570	395
VII 特別損失					
1 投資有価証券評価損	356		67		
2 店舗閉鎖損失	—		123		
3 減損損失	103		106		
4 特別退職金	113		—		
5 その他	—	573	0	297	△276
税金等調整前 四半期純利益		872		2,484	1,612
法人税、住民税 及び事業税	636		717		
法人税等調整額	176	812	228	945	133
少数株主利益		14		10	△4
四半期純利益		45		1,528	1,483

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	872	2,484
減価償却費	783	699
返品調整引当金の減少額	△343	△231
受取利息及び受取配当金	△427	△248
支払利息	319	154
固定資産売却益	—	△553
投資有価証券評価損	356	67
減損損失	103	106
特別退職金	113	—
店舗閉鎖損失	—	123
売上債権の減少額	552	607
棚卸資産の減少額	74	283
仕入債務の増加額	727	58
その他	84	132
小 計	3,216	3,685
利息及び配当金の受取額	421	249
利息の支払額	△331	△159
法人税等の支払額	△768	△543
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,538	3,231
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△387	△255
有形固定資産の売却による収入	0	568
その他	14	△161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△373	150
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	628	△1,899
長期借入金の返済による支出	△269	△269
配当金の支払額	△603	△566
自己株式の取得による支出	△0	△812
その他	30	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213	△3,570
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△527	309
V 現金及び現金同等物の増加額	1,423	121
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,902	6,457
VII 現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,326	6,578

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日)

	ファッション 関連事業 (百万円)	織 維 関連事業 (百万円)	生 活 関連事業 (百万円)	不 動 産 賃貸事業 (百万円)	そ の 他 の 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又 は 全 社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に對 する売上高	16,413	8,216	6,866	1,360	342	33,199	—	33,199
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	235	558	40	514	750	2,099	(2,099)	—
計	16,648	8,774	6,907	1,874	1,092	35,298	(2,099)	33,199
営業利益又は 営業損失(△)	1,175	△145	107	783	△32	1,889	(530)	1,358

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日)

	ファッション 関連事業 (百万円)	織 維 関連事業 (百万円)	生 活 関連事業 (百万円)	不 動 産 賃貸事業 (百万円)	そ の 他 の 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又 は 全 社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に對 する売上高	13,708	6,345	6,241	1,373	390	28,059	—	28,059
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	217	530	29	520	688	1,986	(1,986)	—
計	13,925	6,875	6,270	1,894	1,079	30,045	(1,986)	28,059
営業利益又は 営業損失(△)	1,677	6	131	785	△31	2,568	(518)	2,050

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日)

	資本金 (百万円)	資本剰余金 (百万円)	利益剰余金 (百万円)	自己株式 (百万円)	株主資本 合計 (百万円)
前連結会計年度末残高	3,000	6,165	15,986	△4,422	20,729
当第 3 四半期連結会計期間末までの 変動額					
剰余金の配当			△601		△601
四半期純利益			1,528		1,528
自己株式の取得(注) 2				△812	△812
当第 3 四半期連結会計期間末までの 変動額合計	—	—	927	△812	115
当第 3 四半期連結会計期間末残高	3,000	6,165	16,914	△5,234	20,845

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

2. 平成 20 年 4 月 1 日付で当社の連結子会社である三共生興不動産(株)を吸収合併したことに對し、この合併に反対する株主 1 名から株式買取請求があり、平成 21 年 4 月 10 日付で当該株主から 2,829 千株 (812 百万円) の自己株式の取得を行ったものであります。